

2 「町会ヒアリング」における主な意見（中間報告）

○課題・問題

取り組みの方向性(案)	課題・問題	
自発的な参加の意識づくり	多数意見	若い世代は、目に見えるメリットばかりを求め加入しない。
		アパート入居者が町会に加入しない。
		生活環境整備が充実し、町会加入の必要性やメリットが弱まっている。
	少数意見	子どもが大きくなると脱会する場合がある。
加入しやすい町会づくり	多数意見	共働き世帯の増加などにより、活動への参加者が減っている。
		新規加入者が少ないほか、班長就任の負担感などから脱会する高齢者等も多い。
		町会活動への参加者が同じメンバーである。
	少数意見	集金や回覧板がコミュニケーションに直結するとは限らない。
		町会館での葬儀が減ったため収入減となっているほか、町会の存在価値にも影響をきたしている。
透明性・信頼性の確保	-	-
負担感の軽減	多数意見	班長や区長の業務で集金の負担が大きい。
		役員や班長のなり手が不足している。
		回覧や会議等への出席依頼、各種委員等の推薦依頼など市からの依頼業務が多い。
		班長は、町会費の集金以外に、他の集金(募金・まつりなど)、総会の委任状回収なども負担に感じている。
		地域的にほぼ全員加入しているが、役員のなり手不足は深刻である。
		退職年齢の延長や自営業者の減により役員のなり手が不足している。
		役員に定年がないため、一度引き受けると高齢になっても辞められない。
		共働きが増え、勧誘や集金に行っても会うことが難しい。
		活動全般に対しマンパワーが不足している。
		町会役員のほかに民生委員や保護司などの兼務により負担が大きい。
	色々な活動を行いたい予算が足りない。	
その他	多数意見	個人情報保護の観点が強まり住民情報の把握が困難である。
	少数意見	活動への参加者が増えず会員数だけ増えると、現在の役員の負担が増す。
		学校やPTAからの依頼が多く、ウィンウィンの関係になっていない。
		役員になると、行事への参加等が当たり前になりプレッシャーが大きい。